

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年8月18日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	七尾海陸運送株式会社
所 在 地	〒926-0015 石川県七尾市矢田新町地先埋立地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 和田内 幸三
担 当 者 連 絡 先	電 話：(0767) 53-1250
	メー ル：portside@nanaokairiku.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和19年創立の石川県七尾港を中心に、一般港湾運送事業・港湾荷役事業・船舶代理店業・倉庫業・通関業・一般貨物自動車運送業等を営んでおります。港湾での荷役、倉庫での保管・管理、陸上での運送と、海陸一貫の業務を行っております。
--

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	・ 毎月の時間外労働管理の徹底 ・ 年1回の健康診断の実施、それでの要精検者受診の向上 ・ 年1回のストレスチェックの実施、要面談者の産業医による面談の実施と指導	・ 一定以上の時間外労働者に対し、面談と業務内容の見直しにより超過を無くす ・ 受診率 100% ・ 受診率 100%
✓環境 □社会 □経済	・ 環境負荷の軽減、事務効率化に向けての電子化、ペーパーレス化を計る	・ コピーの使用枚数 20%削減
✓環境 ✓社会 ✓経済	・ 安全衛生委員会による安全パトロールの実施、業務中の安全担当専任者による管理指導、事故発生の際のリスクアセスメントの強化	・ 労働災害撲滅、事故報告書(ヒヤリハット含む)削減

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8							
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1	
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13		
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	環境負荷の軽減、事務効率化に向けての電子化を進め、ペーパーレス化を計る。 コピー用紙の再利用。印刷数の削減。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	全作業に関して、取扱マニュアルを作成しており、事故発生の場合、当該部署より事故報告書に基づいて安全衛生委員会において原因究明・吟味し、それに改善を加え一層安全なサービス提供につなげている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	全作業に関して、取扱マニュアルを作成しており、事故発生などの場合、安全衛生委員会にて再発防止に向けて原因究明し、それに改善を加えて一層安全なサービス提供につなげている。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	海運・陸運各部門において、重機・車両の更新の際は、環境配慮型の機種導入を進める。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	自社ビルは、地元自治より地震の際の津波避難場所に指定されている。港の景観を眺望できる自社ビル屋上を開放している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	諸団体主催のボランティア活動に参加している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	地元業者との取引を大事にして優先している。								8	9		11	12	13				

